

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳輝



第7号 令和3年9月29日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

二学期の開始から新型コロナウイルス感染拡大への対応策として川越市では分散登校が続いていました。今週からようやく全校生徒が揃っての学校生活が始まり、午後は一斉のオンライン授業となっています。今後も一層の感染対策と一人一人が感染予防を確実に行うことで、安全で安心な教育活動を進めていきます。

また、分散登校の期間は体育着で学校生活を送る措置をとっていましたが、衣替えの時期となりました。10月中は、移行期間となっています。寒暖の差に気をつけ体調管理をしながら学校生活を送れることを願っています。なお、今年度より、女子用標準服としてスラックスを購入できるようにしました。自転車通学者の多いことや冬期の寒さ対策を含めての対応です。



防災教育・防災体制の推進

今年も大きな災害や急な天候の変化が各地で発生しています。今まで予測していなかった規模の災害も多くなっています。そういったことから様々なことを想定して安全に教育活動を進めるための訓練が重要となっています。

川越市では市立の小・中学校の対応として川越市内において震度5弱以上の地震が発生した場合は、保護者への引き渡しを実施することになりました。中学校においても災害時に保護者への引き渡しの必要性が示されました。過日、家庭掲示用「大地震が起きたら」を配付しましたのでご確認ください。

本校では、10月7日(木)に「引き渡し訓練」を実施します。当日、生徒は、台風等で引き起こされる水害を想定した防災学習・避難訓練を行った後に「引き渡し訓練」となります。様々な場面を想定しながら、自分自身でその場の状況を理解し、自分で自分の身を守るための行動が取れるよう防災教育を進めます。この機会にご家庭でも「我が家の防災」についての確認や打ち合わせを行っていただきますようお願いいたします。

今回の引き渡し訓練は、教職員の訓練としても行っていますので重ねてご協力をお願いいたします。

緊急災害時の避難所・受付場所の更新

緊急災害の際の避難所の受付場所を更新しました。地震等の緊急災害の場合は、今まで通り体育館が受付になります。しかし、台風などによる水害対応の場合は、ハザードマップの浸水想定により、2階以上を避難所とすることから受付場所を北側の校舎の中央通路とします。いずれの場合も新型コロナウイルス感染対策の観点から受付での検温、避難者カードの記入、避難スペースの振り分けなどが必要なおことをご理解ください。

また、緊急災害に備えた日頃の準備、浸水害の場合の早目の避難をお願いいたします。

